

9 消 防 費

1, 945, 959, 376円

項 目	ペ ー ジ
消 防 費	
防災対策費……………	411
防災支援費……………	422

防 災

消 防 費

1, 9 4 5, 9 5 9, 3 7 6 円

○ 防 災 対 策 費 (1, 9 4 4, 6 0 2, 8 1 4 円)

[防災課]

1 常備消防経費

事務委託費 1,419,433千円

東京都に対して常備消防を委託した。

消防ポンプ車等および救急車の出動状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
消防ポンプ車等 (単位：延台数)	295	231	285	223	290	214	268	293	327	325	290	315	3,356
救 急 車 (単位：回)	553	569	622	658	658	583	602	668	666	628	584	596	7,387

2 消防団運営経費

(1) 消防団火災等出動状況

(単位：件、回、人)

火 災 出 動					そ の 他 出 動	
火 災 件 数	出 動 回 数	延 出 動 団 員 数	1 回 平 均 団 員 数	団 員 1 人 平 均 回 数	出 動 回 数	延 出 動 団 員 数
65	45	1,619	36	3.3	105	3,153

(2) 消防団員等損害補償

(単位：件)

発生日	所属	傷病名	原 因	療 養 補償費	休 業 補償費	休 業 援護金	結 果
4.22	第2分団	アキレス腱断裂	訓練	あり	あり	なし	完治
9.25	第3分団	捻挫	訓練	あり	なし	なし	完治

(3) 消防団員退職状況

(単位：人)

勤務年数	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25年以上	合 計
退職人員	5	14	17	10	16	8	70

(4) 消防団出初式

1月11日に、永山公園総合運動場において、消防団恒例の出初式を挙行し、成績優秀な分団、部および団員について表彰した。

また、青梅市青少年吹奏楽団の協力により、記念演奏を行った。

ア 団長表彰

表 彰 区 分	被 表 彰 者
永 年 勤 続 功 労 章	第5分団第4部 班 長 片柳 貴史
表 彰 状 お よ び 表 彰 き 章	第5分団第4部 副 部 長 片柳 智光 以下 31人
精 績 章	第2分団第2部 部 長 浅木 雅也 以下 40人
精 勤 章	第3分団第3部 班 長 須崎 快星 以下 5人

イ 分団表彰

表 彰 区 分	被 表 彰 者
表 彰 状	第35回西多摩地区消防大会出場分団 第3分団、第4分団

(5) 消防団上部団体等からの表彰

表 彰 区 分	被 表 彰 者
藍 綬 褒 章	団 長 濱野 馨
東京消防庁消防総監特別優良表彰	青梅市消防団
東 京 都 消 防 褒 賞	第 2 分 団 副 分 団 長 並木慎太郎 第 4 分 団 分 団 長 榎戸 慎吾 第 4 分 団 副 分 団 長 市川 義裕 第 6 分 団 副 分 団 長 小村 光範
東 京 消 防 庁 防 災 部 長 表 彰	青梅市消防団
東京消防庁第九消防方面本部長表彰	青梅市消防団
日本消防協会定例表彰	精 績 章 第 1 分 団 副 分 団 長 田中 俊正
	勤 続 章 第5分団第4部 団 員 佐野 佳宏
東 京 都 消 防 協 会 定 例 表 彰	功 労 表 彰 第 4 分 団 副 分 団 長 市川 義裕 第 5 分 団 副 分 団 長 水野 成悟 第 7 分 団 副 分 団 長 浅見 和也
	優 良 表 彰 第7分団第1部 部 長 内村 聖一 以下9人
東京都三多摩消防団連絡協議会表彰	優 良 表 彰 第 5 分 団

(6) 消防団運営費交付金支給状況

支給総額

17,484千円

(単位：人、千円)

区	分	本部	第1部	第2部	第3部	第4部	第5部	第6部	合計
団本部	算定人員	498	—	—	—	—	—	—	—
	金額	935	—	—	—	—	—	—	935
第1分団	算定人員	68	16	15	15	5	15	—	—
	金額	565	406	390	389	224	390	—	2,364
第2分団	算定人員	90	12	14	18	14	18	12	—
	金額	590	300	333	386	347	426	287	2,669
第3分団	算定人員	40	10	9	11	8	—	—	—
	金額	475	267	291	323	261	—	—	1,617
第4分団	算定人員	54	10	7	6	11	8	10	—
	金額	508	254	258	241	324	234	307	2,126
第5分団	算定人員	76	15	18	15	26	—	—	—
	金額	588	389	439	390	591	—	—	2,397
第6分団	算定人員	55	16	11	13	13	—	—	—
	金額	509	353	330	357	317	—	—	1,866
第7分団	算定人員	40	9	11	9	9	—	—	—
	金額	479	277	344	291	277	—	—	1,668
第8分団	算定人員	58	12	16	16	12	—	—	—
	金額	508	300	340	380	314	—	—	1,842

(7) 市内火災発生状況

ア 地区別火災発生状況

(単位：件、㎡、人)

分 団	建物		林 野		車両+その他		合 計		死者	傷者
	件数	焼失面積	件数	焼失面積	件数	焼失面積	件数	焼失面積		
1	4	63	3	2,500	1	10,850	8	13,413	0	2
2	3	150	0	0	6	0	9	150	2	1
3	11	94	0	0	10	0	21	94	1	4
4	3	14	0	0	1	0	4	14	0	0
5	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
6	2	16	1	100	2	0	5	116	0	0
7	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0
8	8	174	0	0	7	0	15	174	1	7
合計	31	511	4	2,600	30	10,850	65	13,961	4	14

イ 月別火災発生状況

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	6	2	3	10	3	8	2	5	10	8	4	65

ウ 原因別火災発生状況

(単位：件)

放 火	たばこ	充電式電池	投込湯沸器	焼却火	その他	合 計
28	7	2	2	2	24	65

※ 火災原因その他内訳

ガステーブル、電気こたつ、ハロゲンヒーター、ガストーチバーナー等

(8) 消防団の活動

ア 西多摩地区消防団連絡協議会団長研修会

7月6日～7日、東京都大島町において、「西多摩地区消防団連絡協議会団長研修会」が開催され、青梅市消防団から団長が参加した。

イ 消防団ポンプ操法訓練審査会

6月8日、青梅市交通公園において開催された。成績は次のとおりである。

区 分	1位	2位	3位	4位
総 合	第2分団	第5分団	第1分団	
消防ポンプ車の部	第2分団	第1分団	第5分団	第4分団
小型動力ポンプの部	第6分団	第8分団	第5分団	第4分団

ウ 西多摩地区消防大会

11月2日、日本航空学園東京青梅キャンパスにおいて第35回西多摩地区消防大会が開催され、小型動力ポンプの部に第4分団が、自動車ポンプの部に第3分団が出場した。

エ 東京都三多摩消防団連絡協議会団長研修会

11月17日～18日に、栃木県日光市、鹿沼市において「東京都三多摩消防団連絡協議会団長研修会」が開催され、青梅市消防団から団長が参加した。

オ 消防団主要行事

月 日	行 事 内 容	実 施 場 所 等
4. 9	西多摩地区消防団連絡協議会総会	奥多摩文化会館
4. 9	東京都三多摩消防団連絡協議会総会	ホテルエミシア東京立川
4. 22	東京都消防協会総会	スクワール麹町
5. 17	専科教育（警防科）	東京都消防訓練所
6. 7	幹部教育研修（初級）	東京都消防訓練所
6. 8	ポンプ操法訓練審査会	青梅市交通公園
7. 5	専科教育（機関科）	東京都消防訓練所
7. 6～7	西多摩地区消防団連絡協議会団長研修会	大島消防本部ほか
7. 13	Ｔｈｅロードレース東京警戒	市内各所
7. 26～27	幹部研修視察	東京消防庁第九方面本部ほか
8. 2	青梅市納涼花火大会警戒	永山公園総合運動場・市内各所
9. 21	救命ボート取扱い訓練	東原公園水泳場

月 日	行 事 内 容	実 施 場 所 等
10. 19	青梅市総合防災訓練	青梅市役所、沢井市民センター等
11. 2	西多摩地区消防操法大会	日本航空学園青梅キャンパス
11. 3	青梅産業観光まつり（消防PRコーナー設置）	青梅市役所
11. 9～15	秋の火災予防運動	市内全域
11. 9	山林火災対応訓練	日本航空学園青梅キャンパス
11. 9	専科教育（救助科）	東京都消防訓練所
11. 17～18	東京都三多摩消防団連絡協議会団長研修	鹿沼市消防本部ほか
11. 29	団署合同訓練	立正佼成会青梅錬成道場
12. 6～7	幹部教育研修（指揮幹部）	東京都消防訓練所
12. 25～31	歳末警戒	市内全域
12. 30	歳末警戒分遣所巡視	市内各所
1. 1	初詣特別警戒	市内各所
1. 11	消防団出初式	永山公園総合運動場
1. 18	防災講演会	青梅市役所
2. 1	幹部教育研修（上級）	東京都消防訓練所
2. 15	青梅マラソン大会特別警戒	市内各所
3. 1～7	春の火災予防運動	市内全域
3. 1	山林パトロール	市内各所
3. 8	濱野団長藍綬褒章受章祝賀会	ホテルエミシア東京立川

カ 備品等の購入・配布状況

品 名	団 本 部	第1 分団	第2 分団	第3 分団	第4 分団	第5 分団	第6 分団	第7 分団	第8 分団	合 計
消防ホース （単位：本）	—	10	12	8	12	10	9	9	8	78
防火服 （単位：着）	—	8	10	2	2	6	6	2	4	40

3 災害対策経費

(1) 防災講演会

「防災とボランティア週間」に合わせて、1月18日に市役所において、防災講演会を開催した。

また、「防災とボランティア週間」期間中の1月14日から21日までの間、市役所にて日常備蓄等に関するパネル展示を実施した。

ア 演 題 「東日本大震災に学ぶ避難所運営の実態「自助・共助（近助）の力」

講 師 「防災意識向上プロジェクト」語り部 菊池 健一氏

イ 参加者 105人

(2) 震災および風水害等の対策

ア 災害対策用食料等の購入

(単位：箱)

施設名称	品 目				
	白 米 (50食入り)	わかめごはん (50食入り)	ビスケット (24食入り)	米粉クッキー (24食入り)	液体ミルク (24本入り)
新町市民センター	75	39	84	2	—
霞台小学校	—	—	40	2	—
若草小学校	—	—	68	2	—
泉中学校	—	—	40	2	—
新町小学校	—	—	64	2	—
新町中学校	—	—	44	2	—
河辺小学校	—	—	44	2	—
河辺市民センター	43	20	—	2	—
青梅市役所	—	—	84	—	25
今井市民センター	—	—	64	2	—
合 計	118	59	532	18	25

イ 福祉避難所開設用消耗品の購入

福祉避難所を開設する際に使用する消耗品として、簡易ベッドおよびおかゆ(白がゆ600食、味付きおかゆ300食)を購入した。

ウ 医療救護所用備品の購入

緊急医療救護所において、負傷者の受付およびトリアージを実施するためのエアータントを購入した。

エ 災害時等における応援協定等の締結について

名 称	締 結 日	締 結 先
損害調査にかかる結果の提供および利用に関する協定	9. 26	三井住友海上火災保険㈱
災害時等における一時避難場所等の借り受けにかかる支援および協力に関する協定	1. 28	三菱UFJ信託銀行㈱ 大和ハウスプロパティマネジメント㈱

オ 前年度繰越事業（事故繰越）

(単位：千円)

事業名	支出負担行為額	6年度支払額	7年度支払額	計
医療救護所用品購入 (キャンバスベッド等)	174	0	174	174

(3) 青梅市防災会議

青梅市防災会議委員

氏 名	選出区分	備 考	氏 名	選出区分	備 考
◎大勢待 利 明	市 長		神 應 知 道	指定公共機関、指定地方公共機関および公共的団体の役員または職員	6.20就任
市 川 祐 一	指定地方行政機関職員		百 瀬 澄 雄		
赤 木 優 介	自 衛 隊 員	7.31退任	小 嶋 延 章		
安 保 直 之		8.1就任	宮 口 泉		
池 上 大	都 職 員		岩 浪 岳 史		
渡 部 裕 之			久 保 稔		
佐 藤 嘉 英			明 石 吉 永		
末 次 健 次	警 察 官	3.8退任	舘 盛 和		
川 村 博		3.9就任	金 子 典 由		
水 越 文 広	消 防 吏 員		原 田 裕美子		
濱 野 馨	消 防 団 長		小 林 弘 政		
小 山 高 義	副 市 長		氏 江 正 二		11.30退任
橋 本 雅 幸	教 育 長		清 水 郁 雄		12.1就任
石 橋 加奈子	指定公共機関、指定地方公共機関および公共的団体の役員または職員		小 花 紀 彦	自主防災組織代表者	
森 山 祐 二			加 藤 めぐみ	学 識 経 験 者	
伊 藤 弘 造			大 友 建一郎	病院事業管理者	
児 玉 大 藏			小 平 久美子	市 職 員	
松 永 重 徳			中 村 幸 子		
山 川 英 男			細 金 慎 一		
中 村 洋 介			中 村 恵 美		
土 田 大 介		6.19退任			

◎は会長

(4) 総合防災訓練

10月19日午前9時から本庁舎および沢井地区において、防災関係機関相互の連携強化および市民の防災意識の高揚と災害対応能力の強化を図るため、総合防災訓練を実施した。

(5) 自主防災組織等運営費交付金

ア 運営費交付金

自主防災組織の運営費として、12組織に対し合計1,723千円を交付した。

イ 防災士育成事業交付金

自主防災組織の強化および防災リーダーの育成を図るため、防災士の資格取得にかかる経費として、6組織に対し総額330,002円を交付した。

また、令和８年３月１５日に地域の防災リーダーを育成することを目的とした防災リーダー講習会を実施した。前年度の講習会アンケート結果から、関心の高かった大雨土砂災害をテーマとして実施した。

講習内容 グループワーク「災害エスノグラフィー」

講師 日本赤十字社東京都支部 防災教育事業指導者 ２名

対象者 防災士資格認定者をはじめ、防災リーダーとして活躍される方

参加者 ３８人

(6) 市内危険箇所調査

６月４日に関係官庁および消防団による市内危険箇所の打ち合わせ会を開催し、各危険箇所に関する対応を協議した。

なお、市内危険箇所は、次のとおりである。

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備考
1	勝沼2-205-60 ほか	石積倒壊	石積の倒壊の危険性がある。	一部土砂災害警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域
2	根ヶ布1-652-9	擁壁倒壊 土砂流出	擁壁の整備および土砂流出の予 防措置が不適格と思われる。	一部土砂災害警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域
3	根ヶ布2-1372-63	斜面崩壊	急傾斜地であるため、家屋へ危 険を及ぼす恐れがある。	一部土砂災害特別警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域
4	梅郷6-1535-4 付近	斜面崩壊	多摩川右岸の傾斜面が雑排水等 により一部崩壊しており、さら に崩壊する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域
5	友田町1丁目地内	建物浸水	家屋が浸水する危険がある。	多摩川に係る浸水想定区域 洪水予報個別対応地区
6	今寺1-808-13 付近	建物浸水	大門川の溢水により床下浸水お よび道路・宅地が冠水した。	過去に被害が発生した箇所
7	今井3-4-24付近 ほか	建物浸水	大雨の際に道路冠水、床上・床 下浸水および工場浸水があっ た。	過去に被害が発生した箇所
8	柚木町1-194先	建物浸水	大雨により多摩川が増水した 際、民間保養施設への被害が想 定される。	地形等から危険が想定され る箇所
9	河辺町1-800付近	斜面崩壊	南斜面にオーバーハングが見ら れ崩壊の危険がある。崩落発生 の場合は、建物3棟に影響の恐れ がある。	土砂災害特別警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域 地形等から危険が想定さ れる箇所
10	畑中2-149-2付近	斜面崩壊	住家から4～5m離れたところが 垂直な崖となっており、大雨・ 地震等による崩落があると、人 的被害が考えられる。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定さ れる箇所
11	長淵1-21-12付近	斜面崩壊	多摩川右岸の住宅下、傾斜面3箇 所が一部崩落しており、さらに 崩落する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定さ れる箇所

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備考
12	吹上132-1先	擁壁の倒壊 家屋の傾き	擁壁の倒壊の危険性および家屋の傾きがある。	宅地造成等規制法にもとづく規制区域 地形等から危険が想定される箇所
13	二俣尾4-1194付近	斜面崩壊	住宅南側斜面が崩落しており、年々崩落が進んでいる。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定される箇所
14	千ヶ瀬町1丁目地内	崖線崩落	多摩川崖線が小規模崩落している。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定される箇所
15	根ヶ布1-652-17周辺	土砂崩れ	法面の保護がなされていないため、家屋へ危険を及ぼす恐れがある。	一部土砂災害特別警戒区域 過去に被害が発生した箇所
16	友田町2-639-7付近	土砂崩れ	法面の保護がなされていないため、家屋へ危険を及ぼす恐れがある。	土砂災害特別警戒区域 過去に被害が発生した箇所
17	日向和田3-495-10	地すべり	亀裂の拡大により、さらに崩落する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域 過去に被害が発生した箇所
18	成木1丁目末成橋付近	建物浸水 道路冠水	成木川の溢水により床下浸水および道路・宅地が冠水した。	過去に被害が発生した箇所
19	友田町1-1212ほか	斜面崩壊	不適正盛土が行われ、法面の保護がなされていないため、斜面崩壊の危険性がある	土砂災害特別警戒区域 過去に被害が発生した箇所

(7) 土砂災害対応訓練

6月29日午前10時から本庁舎および成木地区において、関係機関相互の協力体制の緊密化および防災計画の習熟化を図り、市民の防災意識を高めることを目的として実施した。

(8) 家具転倒防止器具等支給取付事業

家具転倒防止器具等を支給し、取付けを行うことにより、震災時における人的被害の軽減を図ることを目的として実施した。

支給・取付世帯数

(単位：世帯)

該当要件	立川断層近傍および立川断層帯地震で震度6強以上が想定される地域内の世帯のみに該当	高齢者世帯のみに該当	障害者世帯のみに該当	複数の要件に該当	合計
世帯数	20	7	1	32	60

※ 立川断層近傍および立川断層帯地震で震度6強以上が想定される地域

駒木町2・3丁目、長淵1～5・8・9丁目、友田町、千ヶ瀬町1～3丁目、吹上、野上町、大門、塩船、谷野、木野下、今寺、畑中3丁目、和田町、富岡、小曾木1・2・4・5丁目、成木1・2丁目、東青梅、師岡町、新町、末広町、河辺町、藤橋、今井内の世帯（丁目表示のないものは、その町名区域内全域が対象）

(9) ブロック塀等撤去費補助金交付

道路に面したブロック塀等の撤去を行った11件に対し、総額1,228千円を交付した。

(10)青梅市国民保護協議会

青梅市国民保護協議会委員

氏 名	選出区分	備 考	氏 名	選出区分	備 考
◎大勢待 利 明	市 長		児 玉 大 藏	指定公共機関、 指定地方公共 機関の役員 または職員	
赤 木 優 介	自 衛 隊 員	7.31退任	中 村 洋 介		
安 保 直 之		8.1就任	松 永 重 徳		
出 戸 剛	都 職 員		土 田 大 介	知 識 経 験 者	6.19就任
渡 部 裕 之			神 應 知 道		6.20就任
佐 藤 嘉 英			百 瀬 澄 雄		
末 次 健 次	警 察 官	3.8退任	小 嶋 延 章		
川 村 博		3.9就任	宮 口 泉		
水 越 文 広	消 防 吏 員		岩 浪 岳 史		
濱 野 馨	消 防 団 長		久 保 稔		
小 山 高 義	副 市 長		明 石 吉 永		
橋 本 雅 幸	教 育 長		館 盛 和		
石 橋 加 奈 子	指定公共機関、 指定地方公共 機関の役員 または職員		金 子 典 由		
森 山 祐 二			原 田 裕 美 子		
伊 藤 弘 造			大 友 建 一 郎	市 職 員	
山 川 英 男			細 金 慎 一		

◎は会長

4 消防施設維持管理経費

(1) 消火栓の設置

新設および撤去はなく、移設工事のみを行った。

(2) 主な消防団器具置場修繕

(単位：千円)

器 具 置 場 名	内 容	金 額
第 2 分 団 第 2 部	シ ャ ッ タ ー	891
第 5 分 団 第 4 部	L E D お よ び 配 線	277

5 防災行政無線維持管理経費

(1) 固定系

市内126箇所に設置している固定系受信所の機械・設備等の点検を目的として、1日1回（4月～9月は午後5時、10月～3月は午後4時）のチャイム放送を実施した。また、小学生の下校時に合わせ、小学生の見守り放送を行うとともに、臨時放送（火災の発生・鎮火など）を実施した。

(2) 移動系

災害時や防災訓練における情報の伝達・収集に活用した。

6 避難行動要支援者支援対策経費

大門地区、新町地区、今井地区の個別避難計画を作成し、全地区作成済みとなった。

(単位：件)

地 区	大 門	新 町	今 井	合 計
作成数	1,544	1,198	896	3,638

7 消防施設整備経費

(1) 備品の購入・配布状況

品 名	区 分	配 布 先	数 量
背 負 い 式 散 水 装 置	更 新	団本部、第1・2・6・7分団	5台

(2) 防火水槽撤去設計委託

(単位：千円)

委 託 内 容	契 約 金 額	受 注 者	施 工 場 所	契 約 工 期
防 火 水 槽 設 計 委 託	5,701	(株) エーアイ 設 計 工 房	長淵5丁目地内	R7.2.7～6.30
	3,905		勝沼3丁目地内	5.16～10.17
	4,730		梅郷4丁目地内	8.26～1.27

(3) 防火水槽撤去工事

(単位：千円)

工 事 内 容	契 約 金 額	受 注 者	施 工 場 所	契 約 工 期
防火水槽（角形40m ³ 級）撤去	28,195	(株) 濱中技建	長淵5丁目地内	9.9～2.26

(4) 器具置場改修等工事

(単位：千円)

工 事 内 容	契 約 金 額	受 注 者	施 工 場 所	契 約 工 期
第2分団第4部 器具置場解体工事	9,197	宮 崎 土 建	駒木町1-653	4.25～8.15
第4分団第1部 器具置場外壁改修工事	4,510	(株) リバイバル	畑中2-550-2	11.11～3.13
第4分団第1部 器具置場コンクリート ブロック壁改修工事	1,903	阿 部 建 設 (株)		12.19～2.18

(5) 消防自動車の貸与配置

所 属	種 別	規 格	貸 与 元
第6分団第2部	救 助 資 機 材 搭 載 型 車 両	トヨタ3BF-TRY230改	総 務 省 消 防 庁

8 避難所施設整備経費

債務負担行為にもとづく賃貸借

(単位：千円)

事業名称	契約金額	7年度 支払額	年間支払額 8～10年度	年間支払額 11年度	受注者	契約期間
青 梅 市 立 小 中 学 校 災 害 バ ル ク 設 備 賃 貸 借	232,892	46,578	46,578	38,817	りそなり ー ス (株)	R7.2.1 ～ R12.1.31

9 急傾斜地崩壊防止事業経費

急傾斜地崩壊防止工事に当たり、東京都に対し、2地区の負担金を支払った。

(単位：千円)

名 称	金 額	市 負 担 率
友田町2丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	4,807	10%
長淵1丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	9,923	
合 計	14,730	

○ 防 災 支 援 費 (1,356,562円) [地域福祉課]

避難行動要支援者支援対策経費

避難行動要支援者名簿の平常時からの名簿提供の意思確認と名簿の更新を行った。

区 分	登 録 者 数
避 難 行 動 要 支 援 者 名 簿	災 害 時 16,664人
	平 常 時 11,233人